NETIS

公共工事等における 新技術活用システムについて



【】】 国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所

公共工事等における新技術活用システムについて

新技術活用のねらい

公共工事等に関する優れた技術は、良質な社会資本整備の推進に寄与します。 また、優れた技術を持続的に創出していくためには、新技術を積極的に活用していくことが 重要となります。

新技術の活用



・公共工事の諸課題解決

(コスト縮減、品質・安全の確保、環境の保全など) ・技術力に優れた企業が伸びる環境づくり

・民間分野での新技術開発に向けた取組み促進



- 公共事業等の品質確保
- ・良質な社会資本の整備や維持管理・防災対策に寄与

公共工事等における新技術活用システムは、民間事業者等により開発された有用な新技術を公共工事等において積極的に活用・評価し、技術開発促進をしていくためのシステムです。



NETISへの登録申請について

※詳細はこちら→ 九州技術 登録申請

·NETISって何?

録 申 請 作

①申請希望者による情報収集



申請希望者

②申請者による申請書類作成・ チェック



九州技術事務所では原則 <u>Web会議</u>でのヒアリングを 実施しています。

※特許情報等を閲覧のみに とどめたい場合も安心です。

相談窓口に問い合わせる前に、資料を 熟読ください。

- <u>実施規約、実施要領</u>
- ・申請マニュアル

NETIS



※NETISのマニュアルページに掲載

登録が可能かどうか?資料作成の方法がわ からない場合は、技術概要がわかる資料を 持って事前相談に来て頂いても結構です。

申請書作成効率化のため必ず下記サイトを 参照願います。

九州技術 登録申請

検索

※九州技術事務所HPに 『申請書類の作成ポイント』を掲載

③ヒアリング(申請者による申 請書類の提出)



受付窓口

申請内容について、新技術として登録可能で **あるか、ヒアリングにて確認を行ないます。**

- ※事前にヒアリングの予約をお願いします。
- ※TV会議でのヒアリングを基本としています。

申請書類持ち込みから登録までの期間は 以下のような状況です。

- ・最短3ヶ月程度
- •平均半年程度
- ・ヒアリング回数 4回程度

4 相談窓口による書類確認 (受理要件の確認)



Web会議、電子メール、 電話等により、書類修 正等のやりとりを行な います。

書類の確認

申請

手続き完了後NETIS登録へ

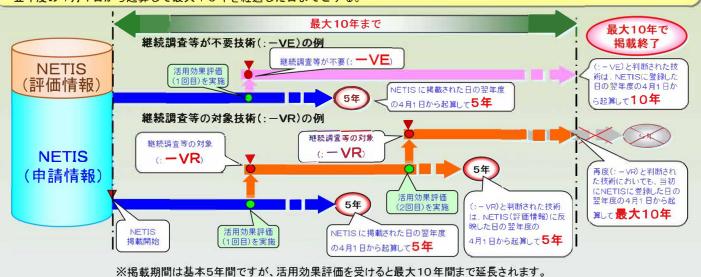
【技術開発相談窓口】※技術の用途により窓口が異なります

下関港湾空港技術調査事務所 港湾空港技術→ 建築・営繕技術 九州地方整備局 営繕部 技術·評価課

N E T I S の 掲 載 期 間 と 活 用 の 型 に つ い て

N E T I S の 掲 載 期 間 に つ い て

- ◆「『公共工事等における新技術活用システム』実施要領」に基づく申請書類の審査を実施し、確認出来た新技術 についてNETISへ登録
- ◇NETISへの掲載期間は、NETISに掲載された日の翌年度の4月1日から起算して5年を経過した日までとする。
- ◇活用効果評価で(:-VE)と判断された技術は、当初にNETISに登録した日の翌年度の4月1日から起算して10年を経過した日までとする。
- ◇活用効果評価で(:−VR)と判断された技術は、NETIS(評価情報)に反映した日の翌年度の4月1日から起算して5年を経過した日までとする。ただし、2回目以降の活用効果評価で(:−VR)と判断された技術においても当初にNETISに登録した日の翌年度の4月1日から起算して最大10年を経過した日までとする。



活用の型について

発注者指定型

発注者がこの新技術を使うように! という場合

現場ニーズ等により必要となる新技術を対象に,<mark>発注者の指定</mark>(又は発注者が提示した新技術リストの中から施工者が 選択(選択肢提示型))により活用し,活用効果調査を行うタイプ

施工者選定型

施工者(受注者)から契約前・契約後にこの技術を使いたいと提案があった場合 施工者(受注者)からの提案に基づき、新技術を活用し、活用効果調査を行うタイプ

試 行 申 請 型

開発者の申請により試行現場を照会し、活用を行う場合

技術の成立性等を事前に審査し、申請者(技術開発者)からの申請により試行現場を照会し、試行調査及び活用効果調査を行うタイプ

フィールド提供型

発注者が二一ズにあった新技術を募集し、その技術の中から効果が高いと想定される技術を使ってみようという場合 民間から新技術を募集し、選考した技術を活用し、試行調査および活用効果調査を行うタイプ

テーマ設定型(技術公募)

直轄工事等における現場ニーズ・行政ニーズ等により、求める技術募集テーマ等に基づき、民間事業者等から技術提案の 募集を行い活用する場合

民間から新技術を募集し、応募されたNETIS登録技術を対象に活用を行い、試行調査および活用効果調査を行うタイプ

活用促進型[試行]

九州地方整備局独自の取り組みとして、九州のフィールドに適応した未評価の新技術を募集し、その技術の中から効果が 高いと想定される技術を発注者指定型で活用する場合

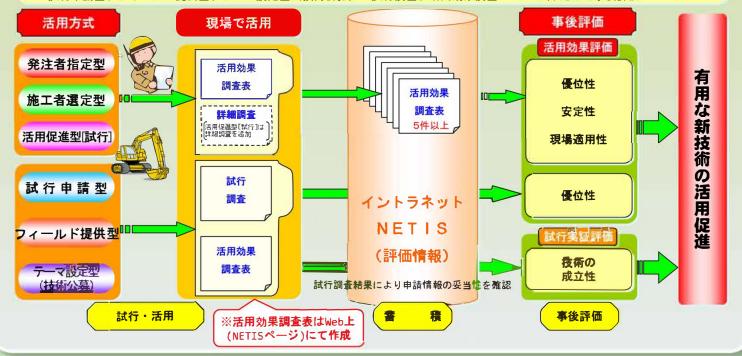
民間から新技術を募集し、選考した技術を活用し、活用効果調査及び詳細調査を行うタイプ

活用効果調査・試行調査と有用な新技術について

活用効果調査・試行調査について

試行・活用時には 試行調査・活用効果調査を行います

- ・発注者指定型、施工者選定型、活用促進型[試行]:活用効果調査を 5 件以上蓄積 → 事後評価
- ・試行申請型、フィールド提供型、テーマ設定型(技術公募):試行調査、活用効果調査 → 1件だけで事後評価



有 用 な 新 技 術 に つ い て

指定の区分

技術の定義

推奨技術

・公共工事等に関 する技術の水準を一層高めるために選 定された画期的な新技術

準 推 奨 技 術

・上 記の推 奨技術と位置づけるためには 更なる発展を期待する物があ る新技術

評価促進技術

・他 機関 等の実 績に基 づ会共工事等に関 する技術水 準等を高めることが 見込める技術

活用促進技術

- ・総 合的に活用の効果が優れている技術
- ん 従来の「活用促進技術」、「設計比較対象技術」、 「少実績優良技術」を「活用促進技術」に統合
- ・特 定の性能又は 機能が特 に優れている技術
- ・特 定の地 域のみ で普 及してお金国に普 及することが有 益と判断される技術
- ・そ の他 評価会議が選 考し指定する技術

録



事前審査

「試行申請型」、「フィールド提供型」、「テーマ設定型 (技術公募)」(事後評価未実施技術の場合、必要に応じ て実施)、の場合又は発注事務所からの依頼があった 場合、申請情報等に基づき技術の成立性や直轄工事等 における活用の妥当性を確認する審査のことをいう。

事後評価 活用後に技術の成立性や活用効果などを総合的 に評価することをいう。

試 価 行 活 用 効 果 評 価 継続調査等の対象 継続調査等の対象外

登録地整等

KT: 関東地整 QS:九州地整

SK:四国地整 HR:北陸地整 CG:中国地整 TH:東北地整

KK: 近畿地整 CB:中部地整

HK:北海道開発局 OK:沖縄総合事務局

※QSK、KTKなど3桁目に「K」がつい ているものは、港湾空港技術調査事 務所にて受付・登録された技術です。

情報種別

: Application(申請)の頭文字 申請情報のみ掲載されている技術 (評価されていない技術)

VR:Value(評価)の頭文字 + "Re"の頭文字 活用効果評価を実施した技術のうち継続調査等の対象となった技術 (評価されて継続調査等ありの技術)

VE:Value(評価)の頭文字 + "End<mark>"の</mark>頭文字 活用効果評価を実施した技術のうち継続調査等の対象としない技術 (評価されて継続調査等なしの技術)

●事務所のご案内

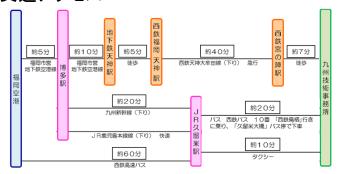
案 内 図



国土交通省九州地方整備局 技 紤 所

〒830-8570 福岡県久留米市高野1丁目3番1号 TEL:0942-32-8245 FAX:0942-32-8295 E-mail qsr-kyugi-netis@ki.mlit.go.jp

交通アクセス



久留米インターから車で 約10分 JR久留米駅からタクシーで 約10分 バスで 約20分 西鉄宮の陣駅から徒歩で 約 7分

九州技術 ホームページ 検索

検索



Facebook

九州技術 Facebook



このパンフレットは電子版でもご覧いただけます →

九州技術事務所 パンフ

検索

